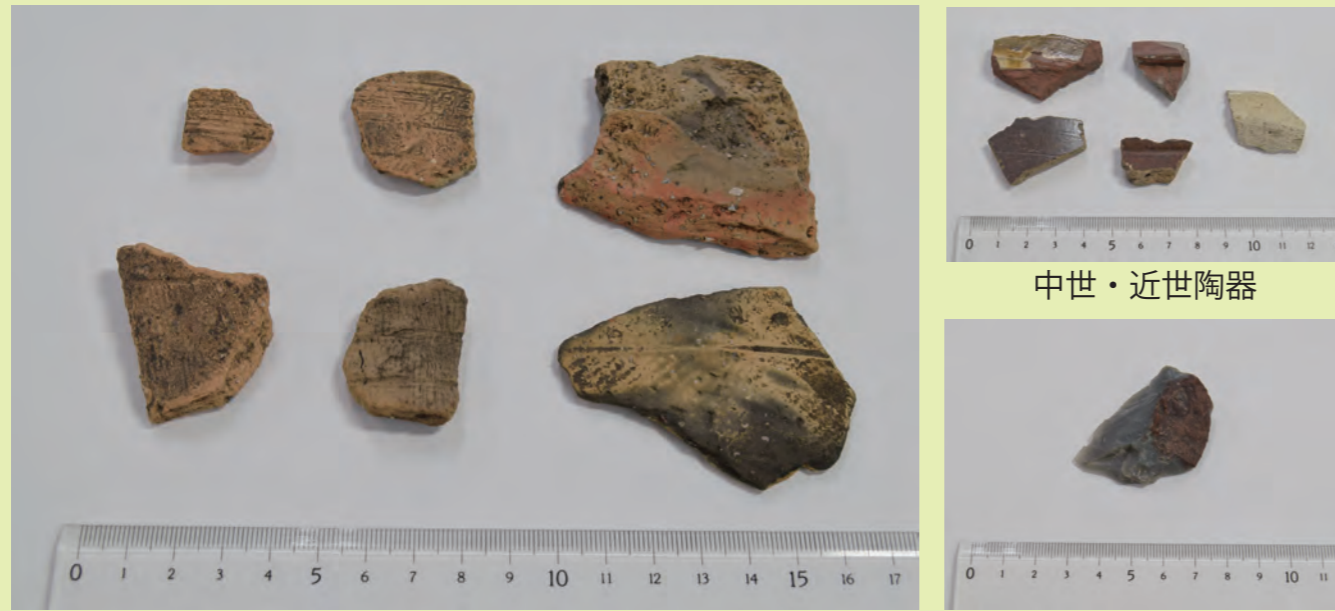


今回の調査でみつかった遺物



弥生土器 壺（つぼ）

中世・近世陶器

石器 はく片

令和2年度の調査に引き続き、竪穴建物などから弥生時代中期の土器が出土しました。土器の多くは壺と考えられ、ヘラなどを使って描いた文様がみられます。土器は全て小さな破片であり、完全な形になるものはひとつもありませんでした。石器は地元で入手できるチャート製のはく片がみつかっています。また、中世や近世の陶器片もみつかることから、この場所で中世以降も人々が暮らし、土地開発を行っていたことをうかがい知ることができます。

まとめ 下平大野B遺跡では、令和2年度の調査区で、弥生時代中期（約2,300年前）の竪穴建物や掘立柱建物などが複数みつき集落跡が発見されました。今回の調査区でも、遺構の数は少ないものの、弥生土器が複数の箇所から出土しており、弥生時代の集落が北側へ広がることが確認できました。下平大野B遺跡は河床（田切川）との比高が20mほどの場所にあります。水害の心配も少なく、水はけもよいため、昔から生活に適したところだったのでしょう。

遺物は、弥生土器の甕や壺の破片、石器のはく片のほか、中世や近世の陶器片などもみつかりました。この下平大野B遺跡でみつかったものは、この地域の歴史や文化を知る上でどれも貴重なものです。発掘調査で発見された遺構・遺物を通して、今につながる歴史を創ってきた先人たちの暮らしに思いをはせていただけたらと思います。

遺跡名 下平大野B遺跡（第3次）
原因事業 東海環状自動車道建設事業 調査委託 国土交通省中部地方整備局 調査主体 三重県教育委員会
調査担当 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503
TEL:0596-52-1732/FAX:0596-52-7035 <https://www.pref.mie.lg.jp/MAIBUN/hp/>
いなべ整理所 〒511-0415 三重県いなべ市北勢町東貝野 454 番地
TEL:0594-72-8955/FAX:0594-72-8970

東海環状自動車道 発掘調査だより

いなべ編 No.14

三重県埋蔵文化財センター

2022.08.21

弥生時代中期の集落跡を調査！ 《下平大野B遺跡》



弥生時代の竪穴建物3（東から）平面形が1辺約4mの四角形

はじめに

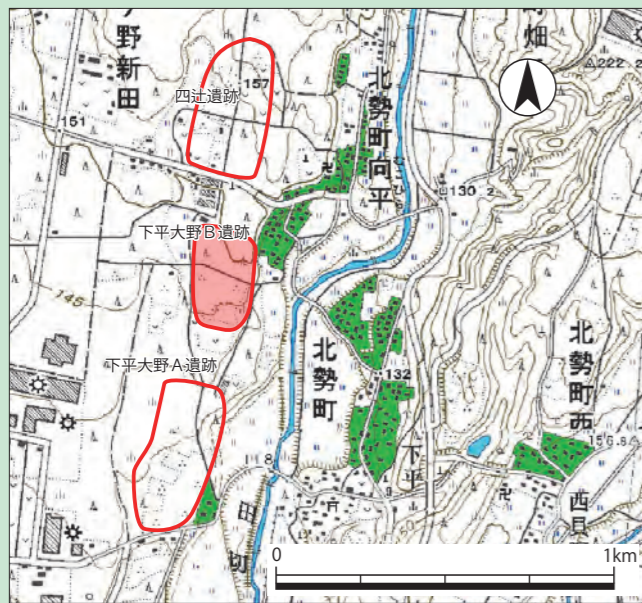
三重県埋蔵文化財センターは、東海環状自動車道建設事業に伴い、令和元年度から、いなべ市北勢町下平にある下平大野B遺跡の発掘調査を行っています。第2次調査（令和2年度）に続く今回の第3次調査では、弥生時代中期（約2,300年前）の遺構・遺物がみつかりました。

下平大野B遺跡と周辺の遺跡

下平大野B遺跡は、田切川の西にある「京ヶ野台地」とよばれる河岸段丘上にあります。平成18年度に、畑からたくさんの石器などがみつき、新しく遺跡として知られるようになりました。

前回（令和2年度）の調査では、弥生時代中期（約2,300年前）の竪穴建物6棟、掘立柱建物4棟、弥生土器などが発見されました。

下平大野B遺跡の周辺では、ほかに、四辻遺跡・下平大野A遺跡などの遺跡が確認されています。四辻遺跡では、縄文時代早期の竪穴建物や中世墓などが、下平大野A遺跡では、中世墓や陶器片、石器などが発見されました。



下平大野B遺跡周辺の主な遺跡

※国土地理院(1:25,000)「駒野」「阿下喜」に加筆作成

今回（R4年度）の調査でみつけた遺構

今回は、前回（R2年度）の調査区の北側で、1,200㎡の調査を行いました。

遺構は、弥生時代の竪穴建物、時期不明の土坑や溝などがみつけられました。

竪穴建物3は前回の調査から続く遺構で、埋土からは弥生土器片が出土しました。また、調査区中央部からは竪穴建物7がみつけられました。

風倒木痕の一角でみつけた土坑には、焼土が溜まっており、これまでにみつけた炉跡との関係性なども気になります。

今回の調査で、弥生時代の生活の跡は北側へ広がっていくことが明らかとなりました。

遺物で分かる！先人の知恵！

弥生土器が出てきた！



《調査区北側での作業風景》

この土器は壺の破片かな。何かきれいに文様がつけてあるね。



今回の出土遺物



土坑(焼土溜り)[南から]

土坑の中に直径60cm×120cmの楕円形をした焼土がみつけられました。堆積の状況から、風倒木痕跡ができたあとに、その一角が掘られて、焼土が埋められたと考えられます。

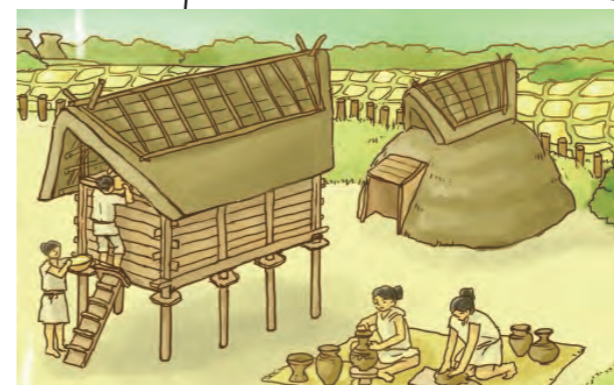
令和2年度調査区では焼土(炉跡)が複数みつっています。この土坑のすぐそばにも炉などが存在し、焼土が埋められた可能性も考えられます。

この後、焼土の部分掘っていくと何か手がかりとなるものが発見されるかもしれません。



竪穴建物7[北から]

平面形が1辺約4mの四角形をしています。出土遺物はありませんでしたが、他の竪穴建物と形や大きさがよく似ていることから、竪穴建物跡であると考えています。



竪穴建物と掘立柱建物の例(想像図)
三重県埋蔵文化財センター作成